

MULTIPLEX

TWISTER ツイスター キット 組み立て補助説明書

当説明書は、キットに同梱されている各国語版の説明書のイラストを参照しながらお読みください。
各国語版の「GB」のページ(P7～10)が英語表記です。

この度はマルチプレックス社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ラジコン飛行機は取扱いを誤ると自分、及び他人に危害を及ぼす可能性が常にある事を忘れずに最大限の注意を払い、飛行をお楽しみください。また必ずラジコン保険に加入して万一の事故に備えてください。

警告 注意 安全のための確認

- 1) 本機体は中、上級者向けの機体で、入門者の単独飛行は困難です。
経験のあるフライヤーに指導を仰いでください。
- 2) 各フライト前には必ず各部を慎重に点検してください。
モーターとファンの取り付け、翼の取り付け状態、重心位置の確認、各舵の動作状況、無線機のチェック等、安全に配慮した機体の点検を怠らないでください。
特に飛行場に到着した時や激しい着陸の後は翼がズレたり搭載物が移動している可能性があります。
- 3) 動力用のバッテリーのコネクターを接続する前に必ず送信機のスイッチを ON にしてモーターコントロールスティック等が必ず OFF 状態にある事を確認してから機体側の動力用バッテリーを接続してください。
守らないと最悪の場合、勝手にモーターが回転して危険な状態になります。
モーターのスピードコントローラーの取扱いも熟知してください。
- 4) 機体を離陸させる時は人に向けてはいけません。手投げの場合も人を背後にした向きで手投げしてください。
飛行中は人や建物、動物に向けて飛行させてはいけません。
- 5) 飛行後のモーターは高温になっています。必ずモーターが冷えてから次の飛行を行なってください。熱いうちに飛行させますとモーターの寿命が短くなりパワーが低下します。
- 6) 機体は高温になる場所に保管しないでください。変形して各部の角度が狂い正常な飛行ができなくなり危険です。特に夏期の車中にはご注意ください。

キット内容のチェック

各国語版の説明書 P10 のパーツリストに沿って欠品がないか調べます。
もし欠品や破損品がある場合は ハイテックマルチプレックスジャパン迄ご連絡ください。

推奨搭載メカ等

・送信機:6ch以上のフラップロン機能等を有する送信機

- 図5** (Abb,5)
胴体補強用のグラスロッドを接着します。
- 図6** (Abb,6)
キャノピーキャッチを接着します。
- 図7** (Abb,7)
エレベーターサーボを接着します。
瞬間接着剤を使用する場合は多量に使いすぎないように注意してください。
サーボケース内に進入しないように少量にして下さい
5分エポキシかホットボンドの使用を推奨します。
- 図8** (Abb,8)
重心調整用のバラストを接着します。
- 図9** (Abb,9)
サーボ延長コードを胴体の主翼付け根の穴に通して胴体に固定します。
- 図10** (Abb,10)
図4と同じように左胴体の前部と後部を接着します。
- 図11** (Abb,11)
図5と同じように左胴体補強用のグラスロッドを接着します。
- 図12** (Abb,12)
左胴体内側にも補強用グラスロッドを接着します。
- 図13** (Abb,13)
キャノピーキャッチを接着します。
- 図14** (Abb,14)
サーボ延長コードを胴体の主翼付け根の穴に通して胴体に固定します。
- 図15** (Abb,15)
左右の胴体を接合します。
接着剤を付ける前に仮組みをして隙間等がないか確認します。
慎重に作業してください。
- 図16** (Abb,16)
左右のエルロンホーンにプッシュロッドコネクターを取り付けます。
ナットにゆるみ止めをして、スムーズに動くようにしてください。
所定の位置に接着します。
- 図17** (Abb,17)
両翼のエルロンサーボとプッシュロッドを取り付けます。
サーボのニュートラルを出してから両面テープか5分エポキシで固定します。

図18 (Abb,18)

エルロンを可動できるように、良く切れるナイフ等で図の部分を切り離します。ヒンジラインを切ってはいけません。

図19 (Abb,19)

エルロンサーボコードを胴体固定済みのコネクタに差し込んで胴体と両翼を接着します。コネクタ内に接着剤が入り込まないように慎重に作業してください。

図20 (Abb,20)

主翼補強用のパイプスパーを接着します。
エルロンサーボのコードをくぐって溝の中にはめ込み強度を出すため全長接着します。

図21 (Abb,21)

サーボカバーを取り付けます。サーボのメンテナンスのためには両面テープあるいはPPテープ等で取り付けたほうが良いでしょう。

図22 (Abb,22)

エレベーターを可動できるように、良く切れるナイフ等で図の部分を切り離します。ヒンジラインを切ってはいけません。

図23 (Abb,23)

エレベーターホーンにプッシュロッドコネクタを取り付けます。
ナットにゆるみ止めをして、スムーズに動くようにしてください。
所定の位置に接着します。

図24 (Abb,24)

水平尾翼を接着します。仮組みをして
主翼とのバランスを見て慎重に作業してください。

図25 (Abb,25)

垂直尾翼を接着します。
水平尾翼とのバランスを見て傾かないように
慎重に作業してください。

図26 (Abb,26)

キャノピーに固定ラグを接着します。
実際に胴体に付けて位置決めをして下さい

図27 (Abb,27)

ダクトユニットをハッチに載せます。
アンブは図の位置にマジックテープ等で固定します。

図28 (Abb,28)

ダクトユニットを載せたハッチを胴体に装着します。
アンブからのコードは胴体下の溝に入れて機首部内側から出します。

図29 (Abb,29)

キットの箱等を参考にしてシールを貼って完成です。

図30 (Abb,30)

標準の重心位置です。

受信機、バッテリーの搭載

おおまかに重心を合わせ、位置を決めます。
特にバッテリーは飛行中に移動しないようにマジックテープで固定してください。

注意:ハイパワーサーボをお使いの場合は受信機を別電源にして下さい。
受信機のアンテナ線にモーター配線やバッテリー配線を密着させないでください。
ノイズが受信機に混入しやすくなります。

重心位置

重心位置は主翼付け根で前縁から 100mmです。
重心位置は飛行機にとって、とても重要な要素です。正確に合わせてください。

舵角の設定

エレベーター	上下10mm
エルロン	上下15mm
エルロン エキスポネンシャル	20%

シール

本機体の素材はシールののりが付きにくい素材です。
先にエンジンシンナーを布に含ませて拭いて表面を軽く荒らします。
この作業は最大30秒以内に行ってください。

初飛行

注意:この機体は中上級者向けです。
初飛行は無理をせず機体に慣れてください。
風の弱い日に行ない、着陸は、まだバッテリーの残量がある
うちに何度かアプローチしておいて余裕をもって着陸します。

株式会社 ハイテックマルチブレックスジャパン http://www.hitecrd.co.jp 〒140-0012 東京都品川区勝島1-4-19-507 03-5767-6300、050-5519-4989 support@hitecrd.co.jp

当製品は改良の為に予告なく内容を変更することがあります、予めご了承ください。